



人間の使い捨ては許せません。

過労うつ病労災 解雇裁判

2裁判が 勝利判決 東芝は健康を戻せ



重光由美さん

「過労うつ」労災認定 東芝の責任明確に 長時間労働などでうつ病になったのに労働災害と認めないのは不当だとして東芝の重光由美さん(43)が、埼玉・熊谷労基署の不支給処分を取り消しを求めていた裁判で、東京地裁民事三十六部(渡邊弘裁判長)は五月十八日、労働災害と認める判決を出しました。

解雇を無効とした昨年四月の東京地裁判決に続いて東芝側の責任が問われる判決です。

重光さんは、埼玉県深谷市の工場で技術職として液晶プロジェクトに従事し、厳しいノルマのもとで、月百時間を超える残業や休日出勤が急増。うつ病となり〇一年九月から休業を余儀なくされ、〇四年九月、休職期間満了で解雇されました。

東芝では成果主義で過重労働が広がり、精神疾患が増加。重光さんの職場でも同僚二人が自殺した。

また、熊谷労基署は労災と認めなかったため、〇七年七月提訴しました。

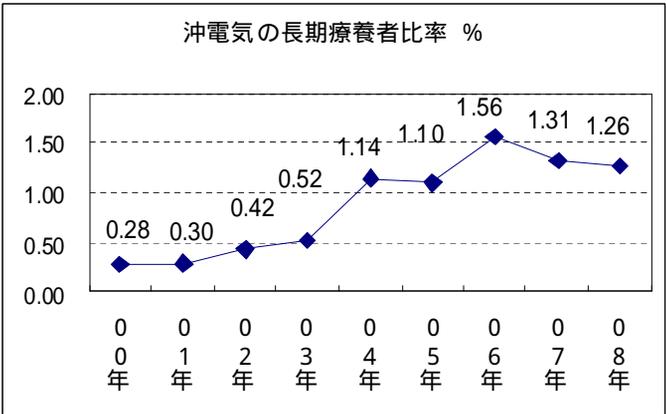
裁判長は「心理的負荷の大きい業務に従事し、厳しいスケジュールが課され、追い詰められた状況にあった。精神障害を発生させるほど過重だった。業務以外に要因は認められない」と述べた。重光さんは「解雇裁判に続く勝訴でほっとしている。東芝は解雇を撤回し解決してほしい。国は労災申請しなればならない人が減るような対策をとってほしい」と語りました。

《沖電気を考える》 第24回

厳しい職場環境 長期療養者比率が1%超の異常

相次ぐリストラで 心と身体が悲鳴

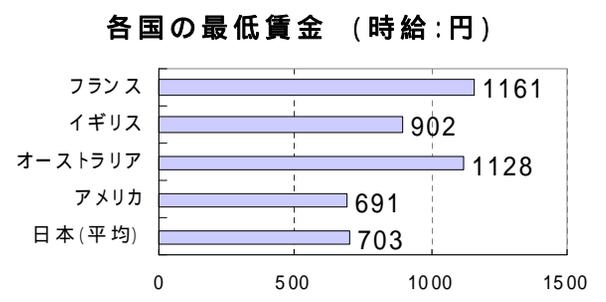
赤字 リストラを繰り返す経営は働く人々の健康に深い傷をつけています。異常値と言われる1%を越える状態で深刻です。下記グラフは当年12月に3ヶ月以上欠勤(長期療養)している人の沖電気労働組合員の比率です。働き方の改善が必要です。(OAK調べ)



アメリカも7月に約1割引き上げ、7ドル25セントになった。日本は生活保護を下回る水準で改善が遅れている。7月末までのグラフは為替レート換算による数値。



日本は欧米に比べて最低賃金が低いのだよ!



新型インフル 対策の徹底を 【富岡】 九月に入って新型インフルエングザをめぐって患者や死亡者が増えるニュースが連日の様に報道され、職場でも心配されています。定点医療機関での受診患者が「1」を超えると流行期に入ったと見られ、全国平均で「2.5」、群馬でも「1.1」になる事態です。地域の学校で新型インフルの感染が発表されていることもあり、学校に通う子供や孫がいる家庭ではなおのこと心配です。感染状況はどうか、いかに予防するかなど、得てきた情報の交換が日常になっています。会社でも上司から「インフルエングザ対策」について話しがありました。家族が罹った場合にはどうするのか、どうしなければならぬのか、などもう少し詳しく時間をかけて対策や対応を徹底して欲しいとの声が聞かれます。

派遣社員から 契約社員になったけれど 【本庄】 本庄工場ではピーク時には約250人の派遣社員が働いていたが、現在はその四分の一程となっている。そんな工場の中で、派遣社員を中心にした生産ラインがある。最近1ラインが増設され、3ラインに働く派遣者は40人ほど、その中で正社員はわずかに5人です。正社員の代替としての派遣労働は禁止されているが、その典型ともいえる職場だ。8月、ライン稼働から3年が経過し、12名の派遣社員がOKI社員(契約)となった。しかし、派遣当時の未消化年休は引き継がれず、年休ゼロからのスタートだという。定年・再雇用制度では年休が引き継がれているが、派遣社員の弱みを利用して、卑劣な処遇ではないでしょうか。

在職死亡多発! 【OKIネット】 東京・門前仲町にあるOKI ネットワークインテグレーション(OKIネット)の職場では、8月から9月にかけて労働者の在職死亡が立て続けに起きました。一人はAさん35歳で、8月3日、門前仲町のビルから飛び降り自殺したとのこと。職場に衝撃が走りました。職員のビルから身を投げるとは、いったいAさんに何があったのでしょうか。 OKIネット出向後うつ病を発病し、休職期間を経て仕事復帰の途中だったとのこと。さらに9月2日、今度はBさん45歳の在職死亡の訃報が流されました。同じ職場で働いてきた者として、お二人に心よりご冥福をお祈りします。 それにしても、同じ職場の中で、まだこれからという労働者がなぜ次々と亡くなっているのか、単に個人的な問題とは思えません。この間のリストラ構造改革の中で、職場環境とメンタルヘルスの悪化が深く影を落としている事が懸念されます。働く者の命と健康に関わる問題です。会社も沖労組としても問題を重く受けとめ、職場環境を改善し、このような悲劇を生まない職場にしていきたいことが喫緊の課題になっています。

「ご支援・アドバイス ありがとうございます」 派遣会社倒産・未払い賃金 支払われなかった。 派遣会社・リセントから 沖電気本庄に派遣されて働いていた者です。3月に突然会社の倒産で、解雇になり、気が動転していたところ、「沖電気」の職場を明るくする会から、未払い賃金は国の「労働者健康福祉機構」での「立替払い制度」(未払い賃金の8割の支払い)を利用しようなど、色々とお身に合ったアドバイスや、会社代理人や労働基準局などへの要請などもしていただき、感謝しています。 先日、「機構」から振込みがありホットしました。 お礼の内容の要約です